

一般質問

4人の議員が町政について質問しました。

一般質問は、議員が町行政全般にわたり、
町長を始めとする執行機関に対して
行う質問のことです。

● 片山 陽市

- ・カーボンニュートラルについて
- ・町道の維持管理及び修繕について

● 内田 保

- ・中学校再編の制服と校則の考え方を問う
- ・太陽光発電設備等に関わる条例の制定に向けて

● 山本 優作

- ・都市計画道路豊丘豊浜線の危険性について

● 服部 光男

- ・太陽光発電事業に対しての今後について

Q
 制服・校則の検討は、主権者教育の立場から生徒達と議論することが必要では
 今後、生徒の意見を聞きつつ検討していく
 A



うちだ たもつ
 内田 保 議員

中学校再編の制服と校則の考え方を問う

問 制服の検討は、主権者教育の立場から、各中学校で生徒の制服検討委員会を立ち上げ、自他の人権を考える総合的な学習の一環として、制服の有無を含め、最低2年はじっくりと議論し、決定していくことが必要ではないか。それまでは、4校それぞれの制服を利用することもできると思うがどうか。

答 鈴木教育部長

生徒が自分のこととして学び考え、形にしていく経験ができる貴重な機会と考えている。4中学校から1年生2名ずつ選出し、生徒準備委員会を組織している。令和4年度には新1年生も加わり、校内で意見や要望をまとめ、大人の検討委員会や再編委員会に対して伝える役割を担っていただく。制服を決める時期は、今後、生徒の意見など

も聞きながら検討していく。新たな制服を決めた場合は、移行期間を設け各校の制服を利用していくことなども検討課題である。篠島中学校の生徒にも考えていただきたいと思っている。

問 これからの学校は、LGBTQ（セクシャルマイノリティー…性的少数者）への配慮が必要である。制服も男女を問わず、生徒本人が選択できるブレザー、スラックス、スカート、キヨロット等のデザインが進んできている。本町でも考える必要があると思うがどうか。

答 鈴木教育部長

セクシャルマイノリティーへの理解と配慮は重要で、制服は多くの方に受け入れられる選択の幅が必要と考えている。今後、生徒や保護者の意見を聞いて、検討部会、再編委員会で検討していく。

問 各地域の制服等の業者や保

護者への配慮はどのように考えているか。

答 鈴木教育部長

ジャージやカバン等も含め衣料品組合と話し合い、対応策を検討する。保護者の負担も考え移行期間を設けることなどについても配慮していきたい。

問 各校の「校則」や「学校の約束」は様々である。当面は無理に統一せず、時間をかけて決めればいいと考えるがどうか。また靴下の色では白のみが4校あるが、篠島中学校の3色からの選択のように、自由選択が望ましいと考えるがどうか。

答 鈴木教育部長

生徒使用品は保護者の負担が大きくなるないように、移行期間を設けて決めていく。靴下は3色の選択の原案を考え、生徒に話し合ってもらおうと考えている。その他の校則も今後、生徒や保護者の意見を聞きながら

決定していきたい。

太陽光発電設備等に関わる条例の制定を

問 人口3千人の東栄町の条例は乱開発を防ぐ条例として優れている。取り入れていく考えはあるか。

答 大岩厚生部長

参考にとできるところは参考にしたい。

問 本町の「太陽光発電設備条例」や「景観条例」をなるべく早く制定する必要があると思うが、いつまでに制定する計画か。

答 大岩厚生部長

太陽光発電設備条例は、議会より要望書をいただいております。来年度中には制定したいと考えている。景観条例の制定については、その前提となる景観計画策定委託料を令和4年度予算に計上している。計画の策定は2か年を見込んでおり、その後条例の制定を予定している。